

大石便り

10月号

第2木曜発行
(第4号)

「少年の主張大会」

9月22日、霊山中央公民館で『第30回霊山地域少年の主張大会』が開催され、大石地区からの2名の児童生徒をはじめ、町内の小・中学校から7名の生徒が発表しました。

小学生の部では、大石小6年の長谷川実穂さん(出広)が『笑顔と自信』と題し、「福島市のろう学校との交流から得た、笑顔の大切さと、自信を持って一生懸命努力することの大切さに気づいたこと」を発表しました。

中学生の部では、今春、大石小を卒業した霊山中1年の大橋瑞希さん(杉菜畑)が『言葉の力』と題し、「何気なく使っている言葉が、実は相手に与えている影響が大きく、相手を傷つけ、いじめにつながることもある。言葉の重みを知り、言葉に責任を持つことが大事である」と発表しました。

大勢の観客の前で緊張しながらも、2人とも立派に自分の意見を発表していました。



駆けつけたご両親と記念に



大橋瑞希さん



長谷川実穂さん

「秋の全国交通安全運動」

「夕暮れは 早めのライトが合言葉」をスローガンに、9月21日から30日までの10日間、秋の全国交通安全運動が実施されました。

交通安全協会霊山分会では、9月21日に、鳥居広道交差点において、朝の交通指導と広報配布を12名の会員(役員6名、女性部6名)により行ないました。

信号で停車したドライバーへチラシとポケットティッシュを配り、交通事故防止を呼びかけました。

また期間中、大橋勝弘北方部班長(高谷)の下、広報車による交通安全運動の周知と交通事故防止の啓発活動を行ないました。(初)



交通事故防止を呼びかける
(鳥居広道付近)

「授業参観を見学」

9月20日、大石小学校で授業参観があり、学校評議員が授業を見学しました。

参加した佐藤ミスズさん(小坂)は、「子どもが少なくなったなあと感じましたが、少ないながらも生徒たちが仲良くやっているのが見れて良かったです。」と話されました。



授業を見学する学校評議員

●その他のニュース

「中央公民館長杯ソフトボール」

「一回戦」

ニューヤンキース(大石)

7-6 中川クラブ

「準決勝」

上小国イーグルス 9-2

ニューヤンキース(大石)

(大石チームは3位)

季節の便り

「聖徳太子会」^え ㊦

9月9日、大善寺で『聖徳太子会』のお速夜(たいや)が行なわれ、義信会(斎藤信雄会長・右代)の会員が参拝し、翌日の日中法要には地元住民も訪れました。

昔、右代集落の農民が畑を耕している、土の中から何か像が出てきました。調べてみたところ、聖徳太子の像であることがわかり、聖徳太子信仰が強い浄土真宗の大善寺に奉納されました。『聖徳太子会』は毎年行なわれており、以前は盆踊りなども行なわれ、大善寺境内は大いに賑わっていたそうです。

太子堂に奉られる
聖徳太子像



太子堂で祈りを捧げる

「水の神様 貴船様」[㊦]

長い日照りが続き、人々と会うたびに「いつ雨降るっぺない」の挨拶が続く、近年にない雨不足でした。「このまま続くと大変だ、雨乞いをしよう」と言うことになり、杉菜畑部落では、9月1日に雨乞い行事を催しました。翌朝には雨が降り、びしょぬれになりました。感涙をこめて境内の草刈りを行いました。

貴船神社は水の神様で、『雨乞い』は降雨を願う祈りです。三十年代前するときも、当時の古老が蓑傘姿で何か唱えながら体を動かしていた様子を覚えています。昨年の大震災の時、停電で水が出なかつた人へ水を差し上げ、大変喜ばれました。(庄)



水の神様へ雨乞いを祈願

花便り



日枝神社鳥居脇に咲く彼岸花

二十四節気

○寒露^{かんろう} (10月8日頃)

「陰寒の氣に合つて露結び凝らんとすれば也」露が冷氣によって凍りそうになる頃
(鴻雁来、菊花開、蟋蟀在戸)

○霜降^{しもふり} (10月23日頃)

「露が陰氣に結ばれて霜となりて降るゆゑ也」露が冷氣によって霜となって降り始める頃
(霜始降、雲時施、楓萬黄)

霊山の紅葉が色付き始める頃。

今月のレシピ

かぼちゃスープ

材料

かぼちゃ 500g、たまねぎ 100g、生クリーム(または牛乳) 100cc、水 900cc、固形コンソメ 3個、バター 20g、塩適量、緑系のハーブ(ミントなど)

作り方

- ① カボチャ、タマネギを適当な大きさに切つて、鍋に入れ、バターで軽く炒める。
- ② ①に水とコンソメを入れて煮る。
- ③ 具材が柔らかくなつたら、裏ごしをして、生クリームを入れる。
- ④ 塩で味を整えて出来上がり。
- ⑤ ハーブを添えると映える。
(トモ子)



地域活動

「南方部で草刈り作業」⑨

9月9日、南方部会（斎藤亀雄会長・右代）では、霊山観光道路（県道国見浪江線）の霊橋から霊山閣間と、県道広畑月館線の広畑から名目沢間の2路線の道路端の草刈り作業を、会員25名の参加で行いました。

南方部会では、6月と9月の年2回、奉仕作業として草刈り作業を継続しています。暑さの中の作業で大変ですが、観光道路と地域の基幹道路を守るため、毎年実施しています。（初）



暑さの中、草刈り作業を行う役員

交流

「スポーツ吹矢で交流」

9月16日、霊山中央公民館で、『スポーツ吹矢体験教室』を開催し、11名（男性4名、女性7名）の方が参加されました。

皆さん初めての吹矢体験でしたが、上手に腹式呼吸を行い、真ん中の7点や5点の的に当てて、感激されていました。



スポーツ吹矢式呼吸法で健康促進（スポーツ吹矢体験教室）

9月28日には、霊山ふれあいセンターで行なわれた「下大石ふれあいサロン」で、約20名の方が、スポーツ吹矢を体験しました。始めはぎこちなかった動作も、慣れると動作も上手になり、的に当たるようになって、皆さん喜んでいました。風船割りゲームでは、

当たってもなかなか割れない風船に苦戦していましたが、割れると爽快な気分になったようでした。体験後は、みんなでお茶を飲みながら、吹矢談義で楽しい時間を過ごしました。



高齢者でも気軽にできます（下大石ふれあいサロン）

紹介

「獅子舞を舞う人、

そのわらじを作る人」

福島県スポーツ吹矢協会
霊山支部長 大石 精(まこと)

大石北又の獅子舞のわらじを作っているのは、杉菜畑の大橋ウメ子さんです。
獅子舞を舞う一年生から五年

生の子どもたちは育ち盛りで、足の大きさもまちまちです。獅子舞は天気の良い日だけとは限らないので、わらじの消耗は激しく、それらを考えてウメ子さんはわらじを作っています。

ウメ子さんの孫たちも獅子舞を舞いました。その時から、ウメ子さんの心を込めたわらじ作りは続いています。（庄）



わらじ作りに励む大橋ウメ子さん

※北又の獅子舞が今年最後の舞いを行ないます。ウメ子さんが作ったわらじも活躍します。

11月3日(祝) 午前9時半頃

文殊様(長畑) 金華山神社(高谷) 貴船神社(杉菜畑) ・お昼休憩 地蔵様(谷神) 熊野神社(藤本)

こぼれ話：スポーツ吹矢の体験後、今後も継続してやりたいと、体験教室では3名(うち大石2名)の方から用具の購入依頼があり、下大石サロンでも練習への参加希望がありました。(精)

行事予定

10月

20(土) だてな復魂祭(保原中央公民館周辺、陣屋通り)
21(日) 秋の靈山紅葉祭り(登山口)

※秋の靈山満喫登山は10月27日(土)

※靈山秋の物産展は11月11日まで

27・28(土・日) 靈山町文化祭(靈山中央公民館)

※芸能発表は27日、展示は27・28日

11月

3(祝) 北又獅子舞奉納(北方部の寺社)

5(月) 佐藤B作氏講演会(靈山中央公民館)

11・12(土・日) JAまつり(JA掛田支店、他)

注：日時等は変更になる場合があります

靈山町文化祭(10/27・28)

今年で40回目を迎える靈山町の文化祭。文化活動をする方々が、一年間の成果を発表します。芸能発表は27日、展示発表は27・28日に行なわれます。

大石地区からも多数の方が、芸能に展示に参加されます。



秋祭り&芋煮会

■ 10月14日(日)

院主(芋煮会)

坊ノ内(地藏様)

■ 10月20日(土)

北方部行政区(芋煮会)

■ 10月21日(日)

台馬越(観音様)

右代(芋煮会)

田代(愛宕様と芋煮会)

■ 10月22・23日(月・火)

小坂(弁天様)

■ 10月28日(日)

共栄(芋煮会)

小坂(芋煮会)

■ 11月3日(祝)

広畑(弁天様)

藤本(熊野神社)

谷神(地藏様)

長畑(文殊様)

杉菜畑(貴船神社)

高谷(金華山神社)

■ 11月11日(日)

下大石振興会(芋煮会)

■ 日程未定

出広、倉波、西館(芋煮会)

阿久津(収穫祭)

注：日時等は変更になる場合があります。

編集後記

今年は大石のあちこちで彼岸花が咲いており、例年より多く見られたという声を聞きました。夏が暑かった影響なのでしょう。また、稲刈りは、例年なら靈山神社の秋季例祭の頃にはほぼ終わっているようですが、今年は台風などの影響で稲刈りが遅れているようです。秋祭りや芋煮会が控えているので、早く稲刈りを終えて、ゆっくり収穫を祝いたいものです。

地域おこしのドラマ『遅咲きのヒマワリ』が、10月23日(火)午後9時から、フジテレビで放送されます。いろいろ恋愛などのドラマティックな展開があるようですが、あくまでドラマですので、大石地区担当と比較しないでください。(支)

次号(11月号)は 11/8(木)発行予定

11月号の編集会議は、
★10/26(金) 19:30～
靈山ふれあいセンター

★投書箱も設置中
(ふれあいセンター内)
『太子講』とかやってませんか？地区の情報をお待ちしています。

連絡先

960-0893 伊達市靈山町掛田字段居 45 靈山総合支所 総務担当 地域おこし支援員 樋口健司
TEL: 024-586-3401 FAX: 024-586-2144 E-mail: kenji-higuchi@city.date.fukushima.jp

大石便り

11月号
第2木曜発行
(第5号)



「町文化祭で発表」

10月27・28日、『第40回霊山町文化祭』が
霊山中央公民館で開催されました。

27日は大ホールで「芸能発表」が行なわれ、
霊山町内で活動している団体が69演目を披
露しました。大石地区からはコーラス、民謡、
スポーツ民謡、日本舞踊、ハンドベルなど多
数の方が出演しました。

スポーツ民謡R・虹の会は、田植えの早乙
女姿に扮して『お米さんありがとう』を踊り、
大勢の観客から喝采を浴びていました。

大橋美里さん（大石小6年・西館）は、袴
姿もりりしく『荒城の月』を踊りました。美
里さんは藤由貴会で日本舞踊を習い、今まで
に教わった技を力いっぱい披露しました。



早乙女姿で熱演するR・虹の会



『荒城の月』を踊る大橋美里さん

27・28日は霊山町体育館で「展示発表」が
行なわれ、24団体が参加しました。大石地区
からは楽生会や生き生きクラブ、手編み教室、
パソコン教室などの作品が展示されました。
シルバー作品展では、斎藤健吉さん（小坂）
の作品が「伊達市長賞」を受賞したのを始め、
数名の方が各賞を受賞しました。

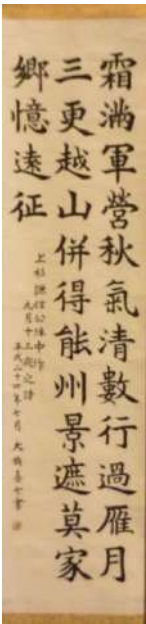
また、音響の大橋秋男さん（杉菜畑）、照明
の大橋清美さん（田代）、カメラマンの大橋忠
正さん（院主）など、芸能好きの大石の方々
が重要な裏方スタッフを担っていました。



斎藤健吉さんの作品『古民家』



大石手編み教室の出展



大橋喜七さん（谷神）の受賞作品

文化祭写真館



ハンドベルの大橋久子さん



コーラスの大橋トミ子さん



日本舞踊の大橋藤男さん



大石民謡会



大石小児童の作品



夕やけクラブ



大石楽生会



絵手紙の大橋芳子さん

こぼれ話：町の文化祭は今年で40回目。文化祭が始まった頃に若手で参加した人も、今ではそれなりの年齢になっていると思います。「あれから40年」と、綾小路きみまろに突っ込まれる年月が経ちました。(支)

季節の便り

「靈山神社の秋季例祭」㊦

晴天の10月8日、『靈山神社秋季例祭』が行なわれました。

社殿で神事が執り行われた後、境内や神楽殿では、靈山太鼓や巫女舞、棒術、スポーツ民謡などが奉納されました。また、北又の獅子舞は境内での奉納を行なった後、院主集落の家庭を廻りました。



集落を廻る北又の獅子舞 (吉田屋さんにて)

竹生嶋流棒術の奉納 (左は齋藤テル子さん)



「集落の秋祭り」㊦

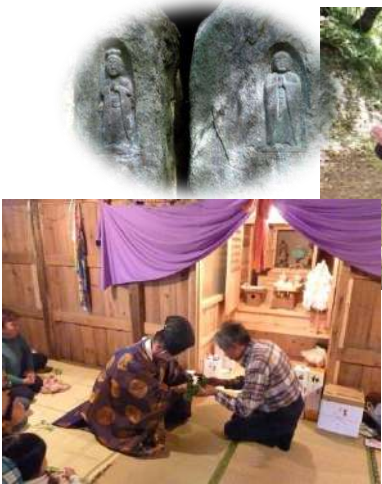
10月14日、坊ノ内集落で『地蔵様』のお祭りがありました。岩に彫られた2体のお地蔵を参拝した後、直会が行なわれました。

21日は田代集落で『愛宕様』のお祭りがあり、足立宮司による神事が執り行われました。引き続き芋煮会が行なわれました。

23日、小坂集落では『弁天様』のお祭りがありました。前日夜には「夜ごもり」が行なわれ、秋の夜長を過ごしました。



右上：地蔵様を参拝
左上：石彫りの地蔵様 (坊ノ内)



足立宮司から玉串を受かる (田代)

「芋煮会シーズン到来」

10月20日、北方部広場で『第28回北方部いも煮会』が開催されました。宝拾いやカラオケ、スポーツ民謡、靈山太鼓に豊年盆踊りと、出し物は盛り沢山。中でも、「部落対抗ゲートボーリング大会」は大いに盛り上がりました。



長老たちの靈山太鼓 平均年齢80歳超え!?

部落の期待を背負ったゲートボーリング



丸森町筆南地区からは「地域おこし協力隊員」の玉手さんが訪れ、芋煮を堪能しながら、大石地区の住民の方々との親睦を深めました。泉原地区や石田地区の地域おこし支援員も参加しました。

10月中旬から下旬には、南方部と下大石の各集落で芋煮会が行なわれました。それぞれ個性的で楽しい趣向を凝らしながら、芋煮に舌鼓を打ちました。また、田代では愛宕様、台馬越では観音様の祭礼も同日に行なわれました。



右上：芸達者の多い院主
中上：ビンゴで楽しむ右代
左上：田代は社殿内で
右下：台馬越は観音様も参拝
左下：アットホームな共栄

地域活動

「共栄で除染活動」①

10月21日、共栄行政区で放射能低減化事業による除染活動が行なわれました。通学路を中心に道路の表土等を剥ぎ取った結果、空間線量の減少効果がありました。子どもたちが毎日安心して通えるよう、住民が力を合わせて作業を行いました。



側溝付近の表土の剥ぎ取り作業 (平周辺)

「スポ少で廃品回収」

10月28日、大石スポーツ少年団育成会(長谷川一浩会長・出広)で廃品回収を行いました。大石各地域から回収した資源ごみを、小・中学生、親たちが協力しながら、搬送と分別作業を行いました。長谷川会長からは「大石地区の

皆様、廃品回収にご協力いただき、誠にありがとうございました。」とお礼の言葉が述べられました。



回収物の分別作業 (JA撰果場)

交流

「楽生会の研修旅行」

老人クラブ『大石楽生会』の秋の旅行で、10月15日から二泊三日で、横向温泉の『マウント磐梯』へ行ってきました。

紅葉は今ひとつでしたが、皆で和気あいあいと愉しく過ごしました。酒が一つでも入ると、お楽しみ演芸も多種多様で、大橋万五郎会長(杉菜畑)の『麦畑』は声量十二分で素晴らしかったです。参加者の最高齢90歳の草野トヨさん(院主)には、旅館からお祝いの座布団をいただき、みんなでお祝いしました。充実した良い研修会

となりました。

投稿：高橋文子さん(三ノ輪)

「南方部研修旅行」②

10月7日、南方部会研修旅行に参加しました。初めに行った『那須フラワーワールド』では、サルビアやマリーゴールドなどが丘一面に咲き誇っていました。



45名が参加し、賑やかな旅行に(那須フラワーワールドにて)



今回の旅行のメインである『芦湯温泉』では、4時間半滞在し、ゆったり温泉に浸りました。地元の大鼓演奏では、誘いを受けた齋藤亀雄さん、八巻紀一さん、八巻幸春さんが霊山太鼓を披露し、那須町の方々と親睦を深めました。帰途のバス内では、大橋忠正さんの名司会により、恒例のカラオケ大会で楽しみました。南方部会

役員の方々、楽しい一日を過ごさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。
投稿：小林節子さん(右代)

●その他の出来事

「伊達市・伊達郡スポーツ吹矢交流大会」(10月19日・川俣町)

○個人戦男子優勝・大橋重治さん(出広) ○勝ち抜き戦3位・大石精さん(倉波) ○団体戦9位・霊山支部A、同15位・霊山支部B

二十四節気

○立冬りゅうとう(11月7日頃)

「冬の氣立ち始めていよいよ冷ゆれば也」初めて冬の氣配が現われてくる頃。

(山茶始開く地始凍く金盞香)

サザンカ、水仙

○小雪しょうせつ(11月22日頃)

「冷ゆるが故に雨も雪と也てくだるが故也」わずかながら雪が降り始める頃。

(虹蔵不見く朔風松葉く橘始黄)

木枯らし、タチバナの実

こぼれ話：小坂集落の守り神・弁天様の前夜祭「夜」もりに向かった支援員でしたが、山のほうに灯りや幟は見えず、肝心の入り口が暗くてわからず、犬には吼えられ、泣く泣く引き返してきました。(支)

行事予定

11月

16(金) 大石小マラソン大会(大石小・霊山神社鳥居)
17(土) 霊山公民館長杯グラウンドゴルフ大会
(中川集落センター)

17・18(土・日) 十三講祭祀(泉原・蓮昌寺)

23(祝) ひっぽ筆まつり(筆神社) ※北組太鼓保存会遠征

25(日) 山の神講(坊ノ内)

いのちの大根まつり(りょうぜん里山がっこう)

※24(土)前夜祭はチエロコンサート(野瀬雅彦氏)

12月

9(日) 太子講(北方部)

※日程未定の行事

阿久津(収穫祭)、小坂(山の神講)、台馬越(太子講)、
三ノ輪(太子講)、出広・倉波・西館・宮協合同(太子講)

注：日時や時間は変更になる場合があります

太子講(12月上旬)

聖徳太子を祀る行事で、毎年、輪番制で宿(やど)と呼ばれる幹事が主催し、男性のみで行なわれる。

昔は、ふんどし一丁で餅つきをしたり、各家庭まで臼を引張って行って餅を振り、かまどの炭を顔に付けて、無病息災などを祈願していた。



お知らせ

◎大石小学校より

11月16日(金)に、『校内マラソン大会』を開催します。住民の皆様から、子どもたちへの熱い声援をお願いします。

○午前10時15分～11時15分

○小学校前・霊山神社間の県道
(スタートとゴールは小学校前)

募集

◎趣味の会『たまたて箱』より

趣味の会『たまたて箱』では、クラフトやビーズなどの手芸を行なっています。一緒に手芸を楽しみませんか。

○連絡先 滝口稲子(小坂)

024(571)3658



町文化祭に出展しました

編集後記

昭和48年、木造の旧掛田小学校で、第1回霊山町文化祭が開催されました。第一次オイルショックがあった年だそう、隔世の感があります。創立40周年記念誌『あゆみ』によると、ピーク時の平成15年には、65団体740名が参加していたそうです。

今年の文化祭では、未就学児や小中学生を除くと、若い世代の芸能や展示がほとんど見られませんでした。今後は次世代を育てていくことが課題です。(支)



次号(12月号)は 12/13(木)発行予定

12月号の編集会議は、
★11/30(金) 19:00～
霊山ふれあいセンター
(30分早まります)

師走の行事は何？
赤ちゃん、ペット、お気に入り
の場所など教えてください。
投稿OK。

訂正(前号)

P4 行事予定
「JAまつり」
【誤】11・12日(土・日)
【正】10・11日(土・日)

連絡先

960-0893 伊達市霊山町掛田字段居 45 霊山総合支所 総務担当 地域おこし支援員 樋口健司
TEL: 024-586-3401 FAX: 024-586-2144 E-mail: kenji-higuchi@city.date.fukushima.jp

大石便り

12月号

第2木曜発行
(第6号)

「筆甫地区と太鼓で交流」⑩

11月23日、宮城県丸森町筆甫地区の筆神社で『ひっぽ筆まつり』が開催され、大石北組太鼓保存会が参加しました。筆甫地区では、毎年「いいふみ」の日に、筆にちなんだお祭りを開催していますが、先日、筆甫地区の地域おこし協力隊員が北方部芋煮会に参加してくれたことが縁となり、筆甫地区との交流が始まりました。

「筆供養」や「筆上達祈願」、「玉串奉典」などの神事が執り行われた後、地元の謡曲や神楽の奉納に続いて、大石北組太鼓保存会による「霊山太鼓」が披露されました。筆甫地区の方々にも好評で、大石地区と筆甫地区の親睦も深まり、今後のさらなる交流を誓い合いました。



合格祈願をする大石の中高生



玉串を奉納する大橋博之区長



甚句を唄う大橋万五郎名人



筆神社に響き渡る霊山太鼓

「霊山ニンジン」の新商品

11月8日、「霊山ニンジン」を使用した清涼飲料水『太古の恵』の発表会が霊山総合支所で行われました。霊山ニンジンは「当帰」と呼ばれるセリ科の植物で、漢方薬として広く利用されています。

当日は、マスコミ各社が取材に訪れ、霊山ニンジン会の大橋喜博事務局長（杉菜畑）が取材を受けました。また、『太古の恵』を試飲した大石地区の会員の方々は、「意外と飲みやすい」とか「体が温まる」と感想を述べられていました。今後、霊山を代表する産品になることが期待されます。

NHKの取材を受ける
大橋喜博さん



大石地区の会員の皆さん

「学習発表会に向けて」

大石小学校の『学習発表会』に向けた会議が、11月6日は大石ふれあい会（大橋庄信会長）で、11月8日には拡大学校評議員会のメンバーで開かれました。

例年は11月に行われる学習発表会ですが、体育館耐震工事のため、来年2月3日に開催されます。プログラムは、第一部がふれあい会賛助団体による芸能発表、第二部は児童によるパフォーミングアートが予定されています。



学習発表会の内容を議論する
大石ふれあい会

●その他のニュース

『霊山公民館長杯グラウンドゴルフ大会』（11月17日・中川集落センター）

第4位 大橋佳伸さん（西館）

※大石地区での最高順位

季節の便り

「北又で獅子が舞う」㊦

11月3日、北方部の5つの寺社で祭礼が行われ、各寺社に北又の獅子舞(大橋庄信会長・杉菜畑)が奉納されました。

文殊様(長畑)を皮切りに、金華山神社(高谷)や貴船神社(杉菜畑)、延命地藏尊(谷神)を回り、熊野神社(藤本)で最後の演舞を行いました。途中の貴船様では精進料理をいただきながらお昼休憩しました。

4時間を超える長丁場となりましたが、子供たちも一生懸命に演舞を披露しました。

金華山神社にて(高谷)



厳かな雰囲気
熊野神社(藤本)

「集落の秋祭り」㊦

11月3日、広畑集落の厳島神社で『弁天様』の祭礼がありました。御本尊は琵琶湖の竹生島にある弁天様の分祀で、竹生嶋流棒術の伝承とも関わりがあると云われています。

11月8日は、右代集落で『八百萬大神』の祭礼が行われました。県道沿いに並ぶ石碑は、昔、近くの川に流れてきた石や岩などを、住民が集めて祀り、代々信仰してきたと云われています。

厳かに佇む厳島神社
での祭礼(広畑)



さまざまな神様を祀る
八百萬大神(右代)

「11月も芋煮会」

11月11日、下大石振興会(菅野房男会長・倉波)主催による『下大石芋煮会』が開催されました。今年が2回目となる芋煮会には、下大石ふれあいサロン会やスポ小メンバーが合流しました。また、スポーツ吹き矢大会も行われ、楽しい時間を過ごしました。そのほか、西館集落や小坂集落でも芋煮会が行われました。



各種団体が合流して賑やかな
下大石の芋煮会
(霊山ふれあいセンター)

「里山がっこうで秋まつり」

11月25日、『大根まつり』がりようぜん里山がっこうで開催され、約130名の方が訪れました。大根抱きかかえコンテストや竹笛づくり体験、放射能測定や健康相談、霊山ニンジンの足湯などで賑わいました。昼食では「よー

こぼつぱの大根カレー」を美味しくいただきました。(すみ子)



近所の方々やサロンのお婆ちゃんたちも遊びに来てくれました

二十四節気

○大雪(12月7日頃)

「雪いよいよ降り重なる折からなれば也」雪が激しく降り始める頃。

(閉塞成冬く熊蟄穴く鱒魚群)

熊の冬眠、鮭の遡上

○冬至(12月21日頃)

「日南の限りを行て、日の短きの至りなれば也」昼が最も短く、夜が最も長くなる頃。

(乃東生く麋角解く雪下出麦)

夏枯草、鹿の角落ち、麦出芽

地域活動

「南方部会で除染活動」⑨

11月11日～25日、南方部会で県の『線量低減化活動支援事業』による除染活動が行われました。各集落の生活道路路端などを方部会役員と住民が共同で除染を行い、空間線量の減少効果が見られました。



高圧洗浄機で道端を除染 (坊ノ内地区)

「除染説明会」

11月中旬、伊達市による『Cエリア除染説明会』が、大石の方部会で行われました。職員による除染の進め方などの説明がされた後、質疑応答では、「今後、子供たちが安心して暮らせるようにしてもらいたい」などといった意見が住民からありました。

説明会の後、各方部とも打合せを行い、年内にモニタリング調査を行うことを決めました。

交流

「サロンの集い」

11月19日、霊山ふれあいセンターで『りょうぜんサロンの会』が行われ、霊山地域で活動する各サロンが活動内容の報告を行いました。また社協の出前講座などで楽しいひと時を過ごしました。



参加した大石の各サロンの方々

「阿久津で一泊旅行」⑩

10月27・28日、阿久津集落で群馬・長野の一泊旅行を行いました。一日目は富岡製糸場、小布施、

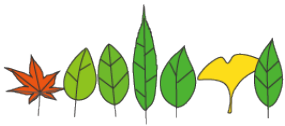
志賀高原を観光して、万座温泉で一泊。翌日は草津や吹割の滝を巡り、楽しく親睦を深めました。



富岡製糸場で歴史に触れる阿久津集落の方々

「スポ小で登山」

11月11日、『大石スポーツ少年団育成会』のメンバーが、徳が森の登山を行いました。霧がかっていた天候も次第に晴れ、山頂からの風景を望むことができました。昨年は自粛したので、念願だった登山が実現できました。



徳が森山頂にて記念撮影

今月のレシピ

チャイ(生薑入り)

～インド風ミルクティー～

材料

- 紅茶・スプーン4杯、水300cc、牛乳300cc、砂糖大さじ1、生姜1個

作り方

- ① ミルクパン(小さい片手鍋)に水を入れ沸騰させる。
 - ② 沸騰したら火を弱め、茶葉を入れる。
 - ③ 3分くらいして茶葉が開いたら、砂糖を入れる。
 - ④ すぐに牛乳を入れ、中火にする。
 - ⑤ 生姜をすり下ろして入れる。
 - ⑥ 鍋の周辺部に泡が出始めたら、沸騰する前(表面にミルクの皮が出る前)に火を止める。
 - ⑦ 茶漉しで漉しながら、カップに注ぐ。
- ※ シナモン、カルダモン、丁香等を入れてもよい(支)

行事予定

12月

- 16(日) 衆議院議員総選挙
- 19(水) 拡大学校評議員会(大石小)
- 21(金) 第二学期終業式(大石小)
- 23(日) 大鳥居注連縄かけ(霊山神社)
- 31(月) 年末大掃除(南方部会館)

1月

- 1(火) 元旦・新年会
- 8(火) 第三学期始業式(大石小)
- 13(日) 成人式(霊山中央公民館)

注：日時や時間は変更になる場合があります

成人式

1946年、埼玉県北足立郡蕨町(現：蕨市)で、敗戦のため虚脱状態にあった若者たちを励まそうと、蕨町青年団が中心となり、『成年式』を実施した。

1949年、この成年式をもとに、「おとなになったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます」の趣旨のもと、国民の祝日として「成人の日」が制定され、全国で『成人式』が行われるようになった。

お知らせ

◎年末年始の閉庁・休館

- 伊達市役所、霊山総合支所
 - 霊山中央公民館・体育館
 - 霊山ふれあいセンター
- いずれも12月29日～1月3日

募集

◎大石ふれあいセンター

大石小学校で開催される『学習発表会』の賛助出演者を募集いたします。民謡、歌謡、舞踊など、日頃練習している成果を、皆さんの前で発表してみませんか。

- 平成25年2月3日(日) 午前9時20分頃
- 大石小学校体育館
- 申込先 庶務 大橋忠正

024(587)1112



編集後記

右代集落の八百萬大神は、自然のもの全てに神が宿っているという「八百萬(やおよろず)の神」の信仰と関わりがあるものと思われまふ。物を大切にしたり、人を思いやる心が、日本人には生来、備わっていたと思います。

地域を回っていると、他人の意見や行動が気に食わなかったり、他の集落がやっていることに不満を感じているような意見を耳にすることがあり、考えさせられることがあります。

個々の人が、さまざまな思いを持ち、それぞれの暮らしをして、社会は成り立っています。寛容な心を持ち、お互いの違いを認め合うことが大切なことなのではないか。「八百萬の神」信仰に触れて、感じたことの一つです。

次号の編集会議は、

★12/28(金) 19:00～
霊山ふれあいセンター

(赤ちゃん、ペット、お気に入りの場所など、情報をお寄せください。)

次号(1月号)は
1/10(木)発行予定

連絡先

960-0893 伊達市霊山町掛田字段居 45 霊山総合支所 総務担当 地域おこし支援員 樋口健司
TEL : 024-586-3401 FAX : 024-586-2144 E-mail : kenji-higuchi@city.date.fukushima.jp